

レジメンcode:	C85-45	備考
適応がん種:	悪性リンパ腫	
レジメン名:	R2	
間隔:	4週間	

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与方法	投与日
Rit	リツキシマブ(リツキサン)	375	mg/m <sup>2</sup>	点滴[*1]	[*2]d1、8、15、22
	レブラミド[*3]	[*4]20	mg	内服(朝食後)	d1~21

\*最大12サイクルまで投与を繰り返す。

[\*2]リツキシマブは1サイクルは1週間間隔、2サイクル以降は4週間間隔、5サイクルまで投与する。

[\*3]RevMateの患者登録が必要。

連日[\*5]

1) バイアスピリン	100mg	1錠/day
	内服	朝食後

[\*5]血栓塞栓症予防のため上記薬剤の内服が推奨されている。

### 【1サイクル目】

#### 【内服】

day1~21 (day22~28は休薬)

1) レブラミド	5mg	[*4]4 Cap/day
	内服	朝食後

[\*4]腎機能障害患者に投与する際の開始用量の目安

・30 ≤ CLcr < 60ml/min: レブラミド10mg/dayで開始 (2サイクル終了後、忍容可能な場合は15mg/dayに増量可能。)

・CLcr < 30ml/min: レブラミド5mg/dayで投与。透析患者の場合は透析後に5mg/day投与。

day1、8、15、22

1) カロナール	200mg	2錠
d-クロルフェニラミン		1錠
	内服	リツキシマブ投与30分前

#### 【点滴注射】

day1、8、15、22

1) 生食	50ml	1本	内服前投薬、心電図確認 ルート確保
2) リツキシマブ(リツキサン)		375 mg/m <sup>2</sup>	
生食	500ml		生食で10倍に希釈
主管①	点滴		初回は25ml/hr→100ml/hr→200ml/hr と1時間ごとに投与速度を上げる 2回目以降は100ml/hrから開始[*1]

次ページあり

3) 生食	50ml	1本	
-------	------	----	--

フラッシュ

4) ヘパリンNaロック 10ml 1 筒

ルートロック

〈所要時間 約6時間〉

【2～5サイクル目】

【内服】

day1～21 (day22～28は休薬)

1) レブラミド 5mg [\*4]4 Cap/day  
内服 朝食後

day1

1) カロナール 200mg 2 錠  
d-クロルフェニラミン 1 錠  
内服 リツキシマブ投与30分前

【点滴注射】

day1

1) 生食 50ml 1 本 内服前投薬、心電図確認  
ルート確保

2) リツキシマブ(リツキサソ) 375 mg/m<sup>2</sup>  
生食 500ml 生食で10倍に希釈  
主管① 点滴 初回は25ml/hr→100ml/hr→200ml/hr  
と1時間ごとに投与速度を上げる  
2回目以降は100ml/hrから開始[\*1]

3) 生食 50ml 1 本

フラッシュ

4) ヘパリンNaロック 10ml 1 筒

ルートロック

〈所要時間 約6時間〉

次ページあり

【6～12サイクル目】

【内服】

day1～21 (day22～28は休薬)

---

1) レブラミド	5mg	[*4]4 Cap/day
	内服	朝食後

---

【文献】

国際共同第Ⅲ相試験[NHL-007試験(AUGMENT試験)]J Clin Oncol 37:1188-1199(PMID:30897038)

【適応】

再発又は難治性の濾胞性リンパ腫及び辺縁帯リンパ腫

◎注意事項

レブラミドは、ヒトで催奇形性を示すサリドマイドによく似た薬剤であり、胎児への暴露予防を目的にその流通および使用が適正であるかを管理・評価する「レブラミド・ポマリスト適正管理手順(RevMate:レブメイト)」が定められている。RevMateは、医療関係者、患者さんとそのご家族等、すべての方に理解し遵守していただくことが必要である。